

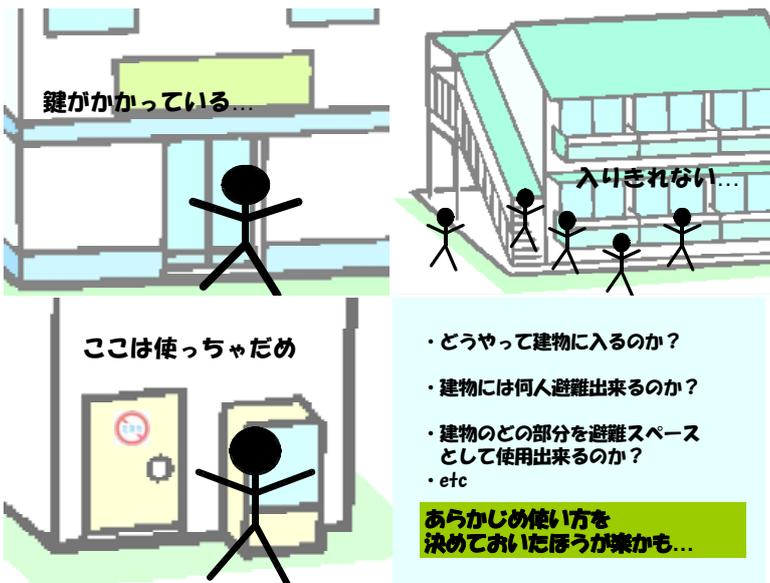
## 第3回総会で今年度の事業計画、予算、役員を承認

6月22日に自主防災会第3回定期総会を会員71名（内委任状51名）の参加のもとで開催しました。

今年の総会では、市の補助金交付を二年間待ったために、備えるための資機材についても見直しを図り、提案のうえご承認いただきました。また、管理組合の総会で理事長が交替したため、新しく茅原会長をはじめ32名の新役員を選出しました。今後は、みなさんのご要望・ご意見を踏まえて新しい体制で事業の具体化を図ることとしました。

### 津波避難ビルを考えよう

（高知市危機管理室説明資料より）



当日は、議事に先立ち、高知市危機管理室から「津波避難ビル」についての考え方を示していただき、理解を深めあいました。現在、「下知南地区津波防災検討会」でも、下知地域の津波避難ビルの選定などについて話し合いがされていますが、津波避難ビルの必要性や取り決めをあらかじめ行うことの有効性などについて提起がされました。現在、下知地区での「津波避難ビル」として指定されている民間ビルは斜め向かいの「ベスト電器」さんだけです。今後町内会連合会で、要請を行っていくこととなっています。

### 津波避難ビルとは

津波避難ビルは、津波による被害が想定される地域の中でも、地震発生から津波到達までの時間的猶予や、地形的条件等の理由により、津波からの避難が特に困難と想定される地域に対し、やむを得ず適用される緊急的・一時的な避難施設である。したがって、津波避難ビル等の指定は、地域住民等の生命の安全を確実に担保するものではない。

津波避難ビル等の指定・普及の推進にあたって認識しておくべき最も重要な点は、緊急的・一時的であろうと、津波から生命を守る可能性の高い手段を、地域内に少しでも多く確保していくという姿勢である。また、津波避難ビル等は、利用・運営体制をあらかじめ十分に強化しておかなければ、津波避難ビル等として機能しない可能性もある。これは、地域住民等の自助・共助の意識や姿勢によるところが大きいものであるため、津波避難ビル等の検討の段階から、地域住民等の積極的な参画を前提としておくことが望まれる。

内閣府「津波避難ビル等に係るガイドライン」より

# いよいよ補助金申請が可能に 資機材購入と一層活動の活発化を

昨年度も、高知市との間で補助金申請についてのヒアリングを行いました。補助金の交付を受けることができませんでした。そのため、資機材の購入や補助金関連事業の防災マップの作成は、実施できませんでした。今年度は高知市自主防災組織育成強化事業費補助金に対して118団体からの申請相談がある中で、内定を得て申請書の提出が可能となりましたのでご報告致します。

なお、補助金で事業を行う場合は、事業完了報告書の提出などが必要となりますので、資機材購入や防災マップの作成、避難訓練など補助金を充てる事業は原則1月末までに行うこととなります。そのため、避難訓練なども従来の3月より早く取り組む必要も出てきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

## 事業も一歩踏み込み、より丁寧に

事業計画は下表のとおりですが、とりわけ防災マップや携帯版防災マニュアルの作成は、皆さんのお知恵をお借りしなければならないと思いますので、くれぐれもご協力をお願いします。

また、第三回全世帯アンケートによる要支援者の変更把握などもみなさんの提出があってこそその有効性を持ち得ることとなります。昨年の「窓ガラス飛散防止フィルム貼り付け教室」などに引き続き、今後の家具転倒防止の取り組みも、さらに一歩踏み出せるようにしていきたいと思っております。

そして、防災会会員の皆さんの資格や特技で、救助活動に生かせるものはないのかなどについて、把握させていただき、いざという時にお力を貸していただく「レスキューマン・バンク」登録の検討も行う予定です。

これは、階段を昇降できる避難用の器具で、マンション防災には必要なものとして購入予定にリスト化しました。



## 2008年度事業計画

- 1 第3回全世帯アンケートを行い、要支援者の変更把握などにつとめる。(8月頃)
- 2 家具転倒防止の取り組みの一層の推進を図る。
- 3 第3回防災講演会など学習会を開催する。(9月頃)
- 4 防災マップ・携帯版防災対策マニュアルを作成する。(10月～1月頃)
- 5 津波避難ビル指定に向けた協議を行う。
- 6 08年度防災・避難訓練を行う。(1月頃)
- 7 会員の特技・資格登録制度(レスキューマン・バンク)の検討
- 8 予算書に掲げた資機材を購入整備する。(1月頃)

2008年度サーパス知寄町 I 自主防災会予算  
期間

2008.4~2009.3

科目名		本年度予算額	前年度予算額	対比	備考
収入	自主防災会費	134,000	134,000	0	
	管理組合助成金	134,000	134,000	0	134世帯×1000円
	補助金	800,000	0	800,000	高知市自主防災組織育成強化事業費補助金800,000円(育成を図る事業、整備を図る事業)
	その他の収入	0	0	0	
	雑収入	100	40	60	預金利息
	前年度繰越金	96,325	22,326	73,999	
	収入計	1,030,425	156,366	874,059	
支出	自主防災組織育成事業費	205,560	156,366	49,194	防災計画、防災マップ等作成、携帯版防災対策マニュアル作成、講演会開催、講師謝金等、防災新聞「ちより」6回発行、防災避難訓練経費等、家具転倒防止の取り組み
	自主防災組織施設等整備事業費	824,865	0	824,865	
	備品購入費	824,865	0	824,865	自主防災組織の整備を図る事業費充当(救助用初期資機材、おんふたいプラス、情報伝達用資機材、避難誘導標識、イーバックチェア等)
	支出計	1,030,425	156,366	874,059	
次年度繰越金				0	

	単価	数量	金額	
育成を図る事業費	防災マップ作成費		76,650	
	携帯版防災対策マニュアル		25,000	
	防災新聞「ちより」	10,000	5	50,000
	防災避難訓練経費等			20,000
	講演会等			20,000
	事務費			13,910
	計			205,560
整備を図る事業費	背負式救助用工具箱セット	30,600	3	91,800
	おんふたいプラス	8,400	3	25,200
	トランシーバー	16,830	13	218,790
	携帯用拡声器	17,280	1	17,280
	2灯ハロゲンライトセット	38,800	1	38,800
	発電機	71,200	1	71,200
	油圧式ジャッキ	43,680	1	43,680
	小計			506,750
	値引き			-6,750
	消費税			25,000
	計			525,000
	防災啓発看板	13,000	2	26,000
	蓄光式避難誘導標識	4,100	13	53,300
	イーバック+チェア	172,000	1	172,000
小計			251,300	
消費税			12,565	
計			263,865	
ハンドパワーウィンチ(税込)	12,000	3	36,000	
計			824,865	
合計			1,030,425	

## 2008年度役員体制です

会長には管理組合理事長、避難誘導班には理事があたっていただくことと  
なっています。新体制への御協力をよろしくお願いいたします。

皆さんよろしく

役 職 名	人数	氏 名
会 長	1名	408 茅原和明
副会長	若干名	811 小松弘典 1107 五藤星三 404 坂本茂雄
会 計	1名	902 島本博子
消火班長	1名	511 西村尚志
避難誘導班長	1名	1002 福永敏之
救出救護班長	1名	1204 坂本一洋
情報班長	1名	404 坂本茂雄 (兼)
給食給水班長	1名	911 林郁子
消火班員	若干名	205 浜崎明夫 505 伊藤実智 1004 畑山育子
避難誘導班員	若干名	303 岡村準子 505 伊藤実智 (兼) 608 井上郁子 (兼) 708 畠中敏彦 803 石原栄 901 田中顕夫 1011 松本岸子 1104 野嶋佐由美 1202 金谷千鶴 1304 北川光子 1404 濱川主生 602 橋本肇聡
救出救護班員	若干名	506 西山保 904 宮本一敏 1008 西内康雄 1105 野並華奈
情報班員	若干名	604 客野建一 1403 沖本健二
給食給水班員	若干名	608 井上郁子 707 北村佐代子 806 門脇弘幸
監 事	1名	202 川見義則

**第1回役員会は7月19日(土)午後7時から  
開催します。ご参加よろしくお願いいたします。**